

みずほCustomer Desk Report 2020/05/07号 (As of 2020/05/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

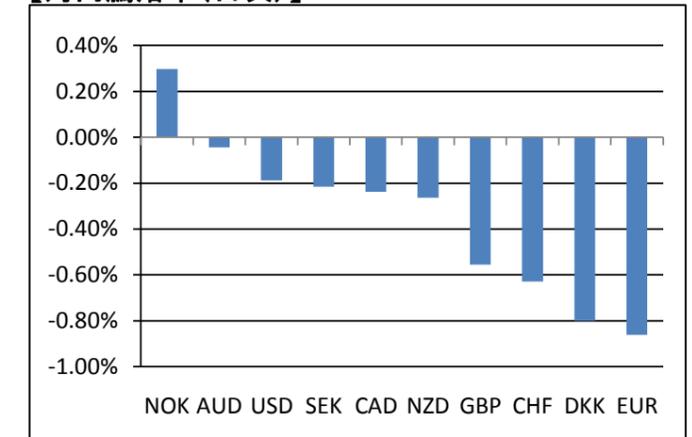
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	106.74	1.0958	116.94	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	107.06	1.0980	117.22	1.2447	0.6377
SYD-NY Low	106.64	1.0896	116.28	1.2495	0.6434
NY 5:00 PM	106.72	1.0905	116.35	1.2405	0.6373
NY DOW	23,749.76	26.07	日本2年債	-	-
NASDAQ	8,710.72	105.77	日本10年債	-	-
S&P	2,842.74	12.03	米国2年債	0.1832	▲1.37bp
日経平均	-	-	米国5年債	0.3600	0.79bp
TOPIX	-	-	米国10年債	0.6297	1.24bp
シカゴ日経先物	19,390	▲125	独10年債	-0.5645	2.90bp
ロンドンFT	5,753.78	▲9.28	英10年債	0.2300	▲1.40bp
DAX	10,466.80	▲394.84	豪10年債	0.8580	▲1.80bp
ハンセン指数	23,613.80	▲1,029.79	USDJPY 1M Vol	7.88	0.05%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	8.24	0.08%
NY金	1,713.30	12.40	USDJPY 6M Vol	8.55	0.08%
WTI	20.39	0.61	USDJPY 1M 25RR	-1.66	Yen Call Over
CRB指数	118.52	0.90	EURJPY 3M Vol	9.33	0.17%
ドルインデックス	99.48	0.41	EURJPY 6M Vol	9.68	0.15%

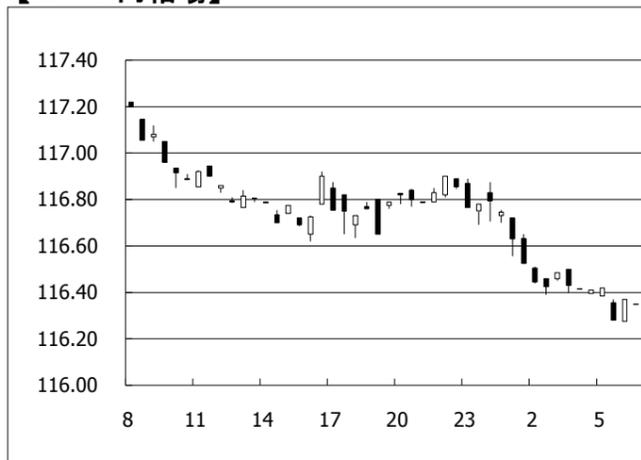
【ドル円相場】



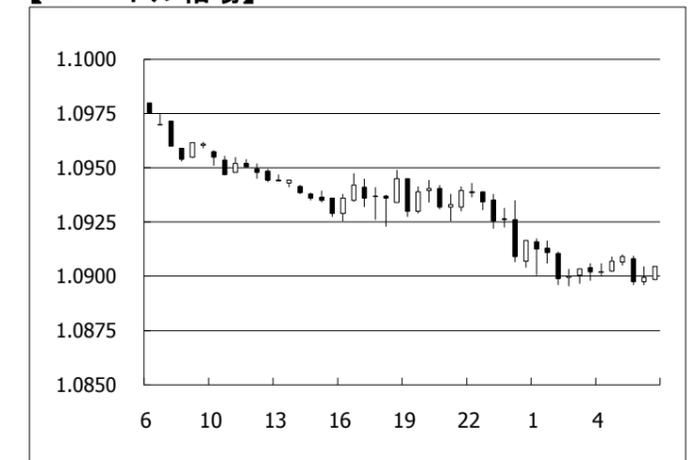
【対円騰落率(日次)】



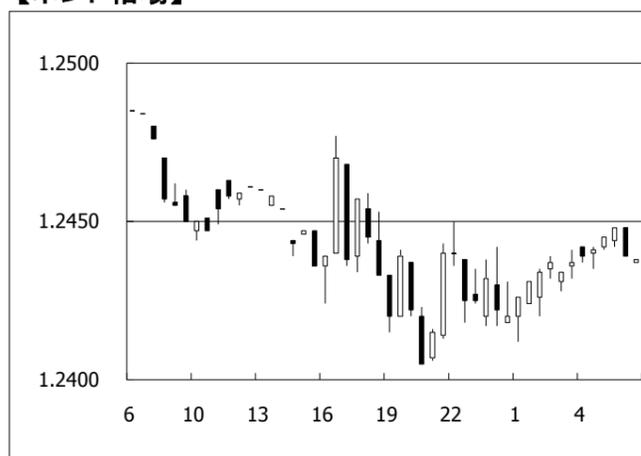
【ユーロ円相場】



【ユーロドル相場】



【ポンド相場】



【豪ドル相場】



アジア
アジア時間を106.74レベルでオープンしたドル円は、前週末からの米中貿易摩擦の再燃を懸念したドル売り・円買いが先行し107.67まで小幅下落となるも、東京休場で取引閑散となる中その後は下げ渋り。シカゴ日経平均先物、ダウ平均先物が下げ幅を縮小する動きを横目に小幅に戻し、結局オープンと同レベルの106.75レベルで海外時間に渡った。(香港時間14:30)

ロンドン
ロンドン市場のドル円は、106.75レベルでオープン。日本が休場とあって同意を欠いた値動き。トランプ米大統領が「仮に中国が米国製品を購入しないなら貿易協定を終わらせる」と中国に非難を強めていることから米株先物が下落基調に転じたが、リスク回避のドル売り・円買いは見られなかった。106.81レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2439レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ、午前中はポンド売りが進んだ。正午あたりに1.2405まで下値を切り下げるとポンド買いに転じ、オープンと同レベルの1.2440レベルでNYに渡った。(ロンドン時間17:00)

ニューヨーク
本邦勢がゴールデンウィークで取引が薄い中、106.67まで下落したドル円は、米中関係が再び悪化する中、リスク回避の動きに円買いが強まる一方、ドル買いが優勢となり、106.86まで戻し、106.81レベルでNYオープン。朝方は、ムニューシ米財務長官が中国とコロナウイルスに関するデータを精査していると発言したことが伝わり、106.76まで下落する。その後、米3月製造業受注が予想以上に悪化するものの、ドル円の反応は限定的。ナハロ米大統領補佐官が「保健福祉局(HHS)と国防総省(DOD)ではアメリカ製がもうすぐ国法になるだろう」と発言したことからドル買いが強まり、107.06まで戻す。しかし米中関係悪化を背景に、円買いが再び持ち込まれ106.80まで反落する。午後は、上昇していたドルが原油価格上昇を受け、コモディティ通貨買いドル売りが強まる中、ドル円は上値を切り下げ106.64まで下落し、106.72レベルでクロスした。一方、月末のリバランスによるドル売りを終えたことや、弱い4月ユーロ圏製造業PMI結果を受け、海外市場で1.0923まで反落したユーロドルは、1.0939レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、ドル買いが継続したことから1.0896まで反落する。午後はドル買いが一服し、軟調に推移していた株式市場が石油関連株の上昇を受けプラス圏で引ける一方、ユーロ円の売りにユーロドルも連れ安となり、1.0896まで再び下落し、1.0905レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。